

6 | 社会的取り組みの状況

健康経営の取り組み

健康経営優良法人2022の認定

株式会社IHI原動機(IPS)は大規模法人部門、ニコ精密機器株式会社は中小企業部門で「健康経営優良法人2022」に認定されました。

健康経営優良法人認定制度とは、経済産業省が日本健康会議と共同で開始した認定制度で、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みを評価して顕彰されるもので、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰するものです。

IPSでは、一人ひとりの主体的な健康づくり活動を支援し、従業員の健康度向上を図る「健康経営」を実践しております。今後も、「IHI原動機健康経営宣言」に掲げた、「従業員の積極的な健康づくりを支援し、従業員がいきいきとその能力を最大限に発揮することで、組織の活性化を図ること」を全員参加で推進していきます。

※ニコ精密機器株式会社・株式会社IHI原動機の100%出資子会社



2021年度 主な取り組み

- ① 受動喫煙対策 2015年から毎年世界禁煙デーを「全社禁煙日」としています。2021年度は5月31日を「全社禁煙日」とし、禁煙の取り組みを行いました。
- ② 管理教育 全管理職を対象にオンラインでラインケア教育を行いました。
- ③ 職場環境改善 ストレスチェック結果から職場の健康リスクを算出し、高ストレス職場に対して改善に向けた支援を行いました。高ストレス職場は自職場で改善計画を策定し実行することで、昨年度に比べて改善する職場が増えました。また、2020年度より健康度調査を導入し、結果を基に職場との対話を深め、いきいき職場づくりに力を入れています。
- ④ 特定保健指導 対象者に対して保健師による対面やオンラインで保健指導を行いました。
- ⑤ コラボヘルス IHIグループ健康保険組合(健保)が導入した健康ポータルサイトPep Up(ペップアップ)の活用や、健保から定期的に提供される資料を基にがん検診受診勧奨を行い、主体的な健康管理の推進につなげています。

今後もIPSは、健康経営の推進に努めてまいります。



労働安全衛生の取り組み

2021年度は、「重量物取り扱い時の はさまれ」等の安全基本原則に加えて、「現地試運転」および「電解加工等の独自作業」の災害防止に注力し、安全基本原則に該当する災害は、不慮災害1件まで減少したが、安全基本原則以外の災害は、3件増加しました。工場部門の災害の重篤度は減少したが、建設部門は、休業1ヶ月以上の重篤な災害が1件発生しました。また、構内請負業者で

「安全ブロックを使用せずに、昇降台へ乗り移ろうとして墜落」する不慮災害が発生しました。

2022年度は、2021年度までの取り組みに加え、「経験の浅い方・実習者・応援者等への教育・指導」および「作業計画段階での検討」を強化し、災害リスクが少ない職場の実現を目指します。

2021年度の主な取り組み



2021年11月16日
全社パトロール(太田工場) (例)



2021年12月10日
全社パトロール(建設現場) (例)

2022年度の主な取り組み

(1) 全員参加による安全最優先の職場づくり

- ① 経営層による全社パトロール、取締役会での月次安全報告、月次の全社安全担当学会議を継続して実施する。
- ② 事業部門トップ・工場幹部等のリーダーシップと見積/設計/調達の段階から工場/建設部門に至る活発なコミュニケーションにより、「より安全な作業方法」を考え、実施する。
- ③ 安全基準に安全基本原則等を追記して改訂し、小冊子として配布して、ルールを守る、守らせる、職場風土を醸成する。
- ④ 各工場、事業部門での各種安全会議を通じ、活発なコミュニケーションを図る。
- ⑤ 一作業一片付けを基本行動とし、整然とした職場をつくる。そのために、各職場で、「5Sの鉄則」を継続して実施する。

(2) 「グループ安全基本原則」の実作業への確実な落とし込み(非正常作業を含む)

- ① 「IHIグループ安全基本原則」および過去の災害に基づき、特に「高所、中低所からの墜落・転落」「高所、中低所での転倒」「重量物取り扱い時の はさまれ」「激突され」災害防止に注力して、作業計画段階での検討を強化し、作業手順書、物的対策などに反映し、作業段階での作業指示票、KYMなどへ活用し災害防止を図る。
- ② 初めての作業を実施する場合は、作業計画段階で検討会(有識者を含む)を開催する。
- ③ 3H(初めて、久しぶり、変更)作業を含む非正常作業の定義を理解し、まずは作業を止める。責任者と安全対策内容を確認・実施した上で作業を再開する。

(3) 他部門の災害・過去災害を自部門に置き換えた安全対策の推進

- ① 「墜落・転落・転倒」「はさまれ・巻き込まれ」に加え、「高温・高圧・危険・有害物との接触」を重点対策項目として、プレミアムフライデー安全点検(工場)、店社・所長パトロール(現場)を通じて職場点検を実施する。
- ② 試運転の災害予防活動(試運転前の安全対策の確認等)を継続して実施する(独自項目)。
- ③ 各工場・事業部門の独自作業(電解加工等)の災害予防活動を継続して実施する(独自項目)。

(4) 安全管理活動のレベルアップ

- ① IHI人事部・エネ領域の教育資料等を活用し、安全管理活動をレベルアップする。
- ② 職長・SMSTフォローアップ教育等で、職長・班長・リーダー・監督に「経験の浅い方への指導方法」について教育する。また、入社3年未満者教育・入所教育・OJT等で経験の浅い方・実習者・応援者等への教育・指導を強化する。
- ③ 安全意識向上のため「ご安全に!」が職場に根付く取り組みを継続して実施する(独自項目)。
- ④ 通勤や業務利用での自動車事故防止のため、安全運転教育など安全運転に結び付く取り組みを継続して実施する(独自項目)。